

人口の動き

12月末現在	
人口	6,783 (-8)
男	3,284 (-13)
女	3,499 (+5)
世帯数	1,534 (-5)
()内は前月比	



No.55
3月号

発行人 川口町公民館長 清 保科
編集人 桜井 兵治

町長杯争奪

新春囲碁将棋大会の結果

一月二十二日、福祉センターでは、新春囲碁将棋大会の新しい町長杯をめぐって熱戦がくり広げられました。結果は次のとおりです。

総合優勝	岡村 徹磨
準優勝	大淵 公男
松組一位	小林 武
二位	藤田 努
三位	広井 孝

竹組一位	岡村 徹磨
二位	星野 健一
三位	関 和雄
梅組一位	大淵 公男
二位	堀沢 哲男
三位	星野 寅二
囲碁の部	
総合優勝	星野敬太郎
準優勝	小山 和夫
A級一位	星野敬太郎
二位	大橋 快泉
三位	星 勲
B級一位	小山 和夫
二位	杉崎 富三
三位	佐藤 三義

中中中中

青年団かわら版 川口町青年団

全国的に青年団の衰退する中で、あるいは一方で仲間を求めて新しい形の青年団を結成してきている中で、県内全域より八十名が参加して、「第二十三回新潟県青年問題研究会」が二月三・四・五日の三日間にわたって開催されました。この集いに川口より四名が参加し、県内青年との交流、そして青年活動の向上のために、研究、討議を深めました。

また川口の団員同士の交流を深めるレクリエーションとして、十日間の間にわたって開催されました。八・十九日と「スケートの旅」を実施しました。このスケートも毎年恒例となっており、今年も川口YTMと合同計画され、三十名ほどが群馬県榛名湖で思いっきり楽しんできました。

◎火力は適度に調節して
コンロは、なべやかんのせでから点火し、炎をその底にふれる程度に調節して使うのが効率的です。また、一度煮たつたら、沸騰がつづく程度に火力を弱めましょう。火力の調節が簡単にできるのがガスコンロの特徴です。

ガスのもたをなくす
実用例
コンロの正しい炎で

◎炎の色・形に気をつけて
ガスが正しい炎で燃えているかどうかに気をつけましょう。ガスが正しく燃えているときは、炎の内側は青くすきとおり、外側がうす紫色で炎の長さもそろって安定して勢いがあります。熱効率が五〜六パーセントも違います。

敢闘賞 星野九十郎
将棋の部 渡辺藤太郎



町民課風景

こちら役場の窓口
土足のままでどうぞ
お茶も出します。
座ってお待ちください。



川口町役場

町民課との一問一答

町民課の特徴は何でしょう
各課の窓口を一本化したもので、町民課へお出ただけならば、全てが処理できるようになったことです。

町民課のコミニティーセンターとはどんなものですか
町民のみならず、どんなに小さなことでも対話いただけるような町民対話室としてご理解ください。みなさんの声を町の政治に取り入れ、健康で活力ある町づくりにするために設けたものです。町との対話の場として、気軽にご利用ください。

町民本位のサービス行政を徹底させるために、町内五ヶ所くらいに「町長への手紙」として意見や希望などを出していただくために「町政ポスト」をつくりました。四月から六月の間は次の場所へ設置します。

- 福祉センター/西川口集落開発センター/田麦山支所/相川集落開発センター/木沢集落開発センター/和南津集落開発センター/役場

「ガスの節約は、効率の良い使い方から」

町民スキー大会は三月五日
気軽に楽しめる種目をふやしました。川口スキー場へお出かけください。

◆編集後記◆
今年度は、機構改革特集でお届けしました。読まれる広報、町民の生活に密着した紙面をめざして、広報のあり方を搜ってゆきたいと思えます。広報は町民の「心と、心の橋渡し」として、より多くの身近な情報をお届けするものです。町民のみならずの厳しい叱正をいただきたいと存じます。



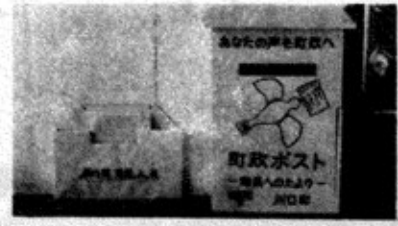
新しい事務機構 (川口町役場)

課名	町長 青柳 弘
助役	岡村 賢 吾
収入役	桜井 仁 夫
秘書課	町長日程等の調整 職員人事管理 課長 桜井 文 夫
総務課	庶務全般、文書事務 子算編成、地方交付税、町債等財務全般 消防、財産管理、町営住宅 職員給与、労務管理、職員教育 課長 古田 島 友 一 補佐 丸 山 晃
企画課	長期計画作成 総合的な開発及び建設の企画調整 工場誘致、統計 高速道路対策、総合農政の計画 課長 関 玉 男 補佐 保科 正 紀 渡辺 政 男
税務課	町税金等の賦課徴収 税務指導 課長 佐 藤 誠
町民課	戸籍、住民登録、印鑑 各課の窓口事務の受付 町民相談室、各種相談受付 課長 関 口 治 郎
福祉課	厚生、国民年金、児童、保育所 社会福祉協議会、ホムテピアセンター 課長 川上 敏 夫 補佐 星 野 正
保健課	衛生全般、保健予防、公害 国民健康保険 課長 広 井 幸 雄 補佐 大 淵 富 一
衛生課	農林水産、畜産の振興及び経営改善 農作物の生産計画及び技術指導 課長 星 野 重 雄

新しい構想でスタート 機構改革と職員異動

町役場では、青柳新町長が町民のみなさんにお約束をした、役場事務の機構改善について準備を進めていきましたが、事務室の改造や職員配置も終り、新しい構想のもとに事務を始めましたので、その内容をお知らせします。

▼窓口事務を一ヶ所に町民課
従来各課ごとに窓口をもっていましたが、町民課を新設して各課の窓口事務を集め、ご用の方はここだけで用が済ませます。戸籍、住民登録関係のほか、どんなことでも申出があれば、職員がすべて手配いたします。町民及び各課の職員に面会のときも、ここで係に申出してください。



町政ポストを町内各所に設置しました。料金を不用のハガキを置きますから、どんなにお寄せください。

▼あなたの意見を町政に
町民課の事務室内に、コミュニケーションセンター(町民対話室)を設けました。対話によってみなさんの意見や考え方を町政に取入れて、健康で活力ある町づくりをする考え

▼総合企画を専門に企画課
企画課は、町の総合的な開発や建設の企画調整を、専門的に担当します。町が実施する建設事業は、すべてここを中心に関係各課と調整しながらすすめられます。高速道路対策や総合産業振興も、検討がはじまりました。

▼名前を変更した福祉課
町民課の新設にともない住民課を福祉課に変更して、福祉専門の課になりました。社会福祉協議会、日赤事務も担当します。

▼各課の連絡調整に秘書課
町長の日程調整や各課の連絡、儀式、表彰等が仕事です。新しい試みの「ボランティアバンク」をこの課におき、民間の奉仕者を募ります。

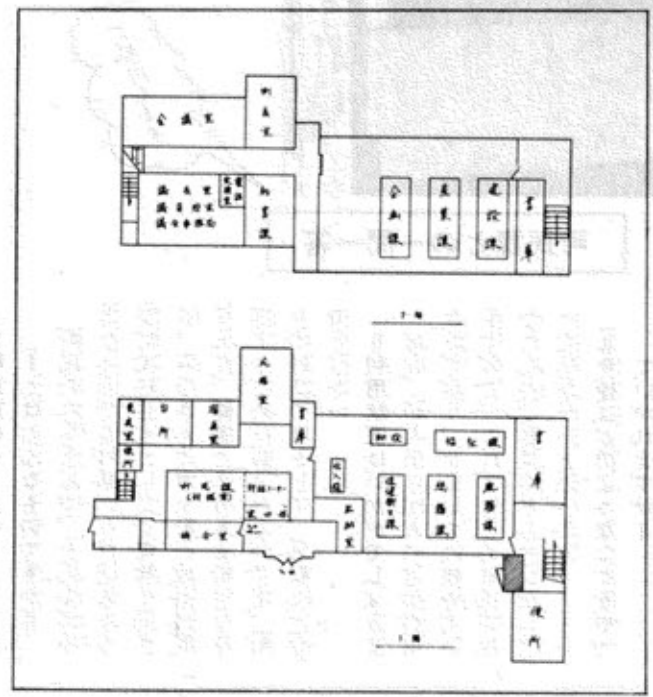
▼社会教育の充実教育課
教育委員会に、教育課を新設しました。若い世代に希望と生きがいを持たせるために、社会教育を充実します。スポーツ、民謡その他各分野のその道に秀たる人を、指導者

産業課	農業委員会、農業共済 商工業の振興及び経営改善 国土調査 補佐 村 淵 光 行
建設課	道路河川の施設改良及び管理 公共土木事業の協力、建築関係 農地保全、農道及び用水路 土地改良事業、交通安全対策 農村総合整備事業 課長 古田 島 博 英 補佐 真 島 淳 山田 久 一 郎
企業課	簡易水道事業 ガス供給事業 課長 渡 辺 勇 補佐 古田 島 正 作
収入役	収入確保 補佐 佐 藤 正 勝
支所	戸籍、住民登録、印鑑 各種窓口事務 支所長 古田 島 一 政

教育課	学校教育・社会教育 公民館、リーダーバンク 福祉センター町民文化会館の管理 課長 金子 真
-----	--

議会事務局	議会議事録 議事管理委員会事務 監査委員事務 課長 関 公 一
-------	--

役場庁舎内配置図



として登録し、活動促進を図るための「リーダーバンク」は、ここに設置されています。

▼各位のご理解を
「町民参加の政治」「サービス行政の推進」を基本的な心構えにしており、二月には東部地区において第一回の町政懇談会が開催され、大勢の参加者によって活発な意見交換がありました。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

町民の声

新装なった町民課の窓口で、町民の方々のナマの声をお聞きして、そのま、掲載してみました。

「とってもいいですね」

「おばあちゃん、役場の中が利用し易く変わった訳ですが、もう何回かお出になりましたか?」

「私は今日初めてなんです」

「どちらからお出になりましたか?」

「あの和南津です」

「初めて来られた感想はいかがですか?」

「いいですね。感じがよくなりましたね」

「今日は役場のどんな用事でこられたんでしょうか?」

「え、私、戸籍係にさね、用事できたんです」

「以前と比べてどう違ったと思いますか?」

「私、ここへこう入ってきてね、ちよつと見たら、案内係がいたので、その方から親切に教えていただいたでしょう。良かったです」

「もつとこうしたら良いと思うことはありますか?」

「いや、私は何でもかんでもよくなるんかとも、そんなによいことは望みません。これだけね、あれしてもらえば、最高ですよ」

「戸惑うことがなくなりました」
(中年の男に聞いてみました。)
「お忙しい所すみません。役場の用が全てここで足りるこのシステムはいかがでしょうか?」

「あの、すごく便利だし、いいと思います。あの、あっちこっち、今までと違って動かねえで、ここで一つの用事が全部足せるのも大変だと思えます」

「今までと変わって、もう少しこうしたら良いと思うことはありますか?」

「今の所別ありませんが、サービスがよくなったみたいですね」

「どちらからお出ですか?」

「大島なんです」

「役場にはよくお出かけですか?」

「時々、寄せてもらっています」

「また何かお気付の点がありましたら、お話しをさせていただきます」

「今までは、各々の課にお願いしなければならなかったため、わからなくて戸惑うことが多かったんです。大変ありがたいです」

「大変ありがたいです」

「大変ありがたいです」

議会議長に綱直太郎氏



町民文化会館が竣工しました

昭和五十三年一月十八日の議会が新しく議長に選出されました。綱直太郎氏が社会文教委員会の委員に選任されました。



この会館は、通産省の工業再配置計画に基づき適地に工場を誘導した市町村に出る工業再配置促進費補助金制度による国庫補助金の交付を受けて出来たものであります。

◎1階 (305.64㎡)	玄関・風除室 (16.92㎡) ホール (9.72㎡) 柔道場 (97.20㎡) サーキットトレーニング場 (64.80㎡) 男子更衣室 (20.40㎡) 女子更衣室 (6.09㎡) 男子・女子便所他
◎2階 (325.44㎡)	会議室兼研修室 (117.0㎡) 教養娯楽室 (79.92㎡) 準備室 (22.50㎡) 湯沸室 (5.94㎡) 機械室・収納庫 男子・女子便所他
◎3階 (257.04㎡)	町民資料展示室 (239.12㎡)
◎屋外非常階段	

一月三十日夜から降った大雪は一週間降りつづき、激しい寒さも加わって大きな被害をもたらしました。飯山線は二月二日・九日までの八日間運休した他、生活面でも痛手を受けました。建設課では除雪隊をフル出動させ道路除雪にあたり町役場は二月二日午後、豪雪対策本部を緊急に設置して、その対策に取り組みました。



川口五の除雪状況

忘れていませんか 国民年金

春は、卒業や進学そして就職、転勤などのシーズンを迎え、わたしたちはあわただしい毎日になります。人はとなく忙しさに追われると、ふだん気をくばっている大切なことをうっかり忘れてしまいがついたり時にはもう手遅れになっていたりということがよくあります。

特に、国民年金はわたしたちの生活の基礎と言える重要な事柄です。生活事情が変わったとき、たとえば、国民年金に加入していた人が工場や会社に勤めた時、また、逆に工場や会社をやめた時などは、すみやかに役場に届出をしてください。

これらの手続きは、年金に加入している人にとって、保険料を納めることと同様に大切なことです。この手続きを怠ったばかりに、将来、年金が受けられないこともありますのでご注意ください。



国民年金を
忘れないでください

施設の整備の経費に充てる目的で工場進出の地元市町村に対して、工場生産施設の面積一平方メートルにつき五千円(総額一億円が限度)が交付されるものであります。当町においても、中山地区と西川口地区の農村工業導入指定地域に進出した企業がこれに該当し、補助金二千七百七十万円の交付を受けて新設したものです。

スキー選手全国大会へ

川口町からスキーの全国大会に出場する選手をご紹介します。第十五回全国中学校スキー大会(草津)に出場する丸山克己君(川口中三年)は県大会複合で優勝の輝やかしい成績でした。第二十七回全国高校スキー大会に出場する綱直君は冬季国体にも出場しますが小千谷高校の二年生、全国高校では純ジャンプ、複合、国体では複合及びリレーメンバーにも選ばれています。▽全国高校に出場する片山登君、古田島茂君(以上小千谷高校)、松崎敦君(堀之内高校)いずれも、

婦人集会

二月十日午後七時半から、東部地区館主催の本年第二回目の婦人集会在商工会館で行なわれました。今回はグループ別に分けて、東部の町づくりについて話し合いが行なわれ、建設的な意見が交換されました。女性の意見を町政に反映させて欲しい、冠婚葬祭の申し合わせを決めて欲しい、道路や側溝の改善修理をして欲しい、などくらしに密接な女性ならではの話し合いが行なわれました。

町政勉強会

二月十八日午後七時半、新築の東部保育所の遊び室を会場に、町政を勉強する会を行ないました。

東部地区館の活躍



雪上娛樂大会

二月十九日、商工会館わきのひろばで商工会青年部と共催で、雪上娛樂大会が行なわれ、東部の子どもたちは大喜び。お父さん、お母さんも連れだって、楽しい半日をすごしました。冬の間はとなく、家にこもりがちですが、雪を利用して、湿った心を解放させるよう工夫してみたいものです。

訪問窃盗や 詐欺事件にご注意

年金の 受給手続 を口実に

昨年八月ごろから、静岡、山形、宮城、千葉の各県で、その後本年に入ってから福島、群馬の各県において、老人を対象に、国民年金や厚生年金などの受給手続を口実に訪問窃盗や詐欺事件が続発しています。

その手口は、役場職員と偽り、「〇月から年金が上がるので年金証書の書替えが必要、手続きをしてやる……」などの口実で年金受給者宅を訪問し、家人に年金証書や印章を探索せ、そのスキに現金や預金通帳を盗みとったり、詐欺するといふものです。

犯人は、二人組の連続犯行とみられ、本県へ立ち回ることと考えられますので、このような被害を蒙らないようご注意ください。

役場職員は身分証明書をもち、役場から、そのような者が訪問したり、声をかけたりしたら、身分証明書の提示を求め、最寄りの警察署や役場の国民年金係に連絡するなど、被害を受けないようくれぐれもご注意ください。

早めに引換えを お年玉賞品

- お年玉つき年賀はがきにつけられているお年玉くじの当せん番号が次のとおり決まりました。賞品の引換えは、七月十九日までですがお忘れないうちに早めに引き換えましよう。
- 一等、各組共通 八五二四九七・一七九七二五
- 二等、各組共通 七五八二四九
- 三等、各組共通 四七七二一七
- 四等、各組共通 下二けた六一・九九・七一

現金送金は「現金書留」で 手紙も同封できます

普通扱いの郵便に現金を入れて送ることはできません。現金を郵便で送る場合には、額の多少にかかわらず、必ず「現金書留」にしてください。現金書留は、現金のほか手紙や書類なども同封することができます。急ぐ場合には、速達にすることもできます。なお、普通扱いの郵便に現金が入っている場合には、差し出した方に戻された上、運送料(三百二十円)をお支払いいただくこととなりますので、ご注意ください。

お祝い電報は お早めに

結婚シーズンの大安日曜日は電報がごみあひます。「ご希望の日におとけす」「配達日指定」をご利用ください。一日前からお打ちになります。配達日の三日以前にお打ちになると一五〇円割引になります。

電話局から

自由な方に便利な電話機のお知らせ 電電公社では普通の電話機では聞取りにくいという方のために、次のシルバーホンめいりようとしてラッシュペルを用意しています。くわしいことは、小千谷電報電話局(電話〇二五八八二二〇五〇無料)へお問い合わせください。



広報かわぐち

No. 56
号 外

発行人 川口町公民館長 保科 清
編集人 桜井 兵治

施政方針

健康で活力ある町をめざして

川口町長 青柳 弘

本日、川口町議会三月定例会の開会にあたり、町政運営に関する所信の一端と、昭和五十三年度における主要な施策についての方針を明らかにし、議員のみなさんをはじめ、町民各位のご理解とご協力をいただきます。

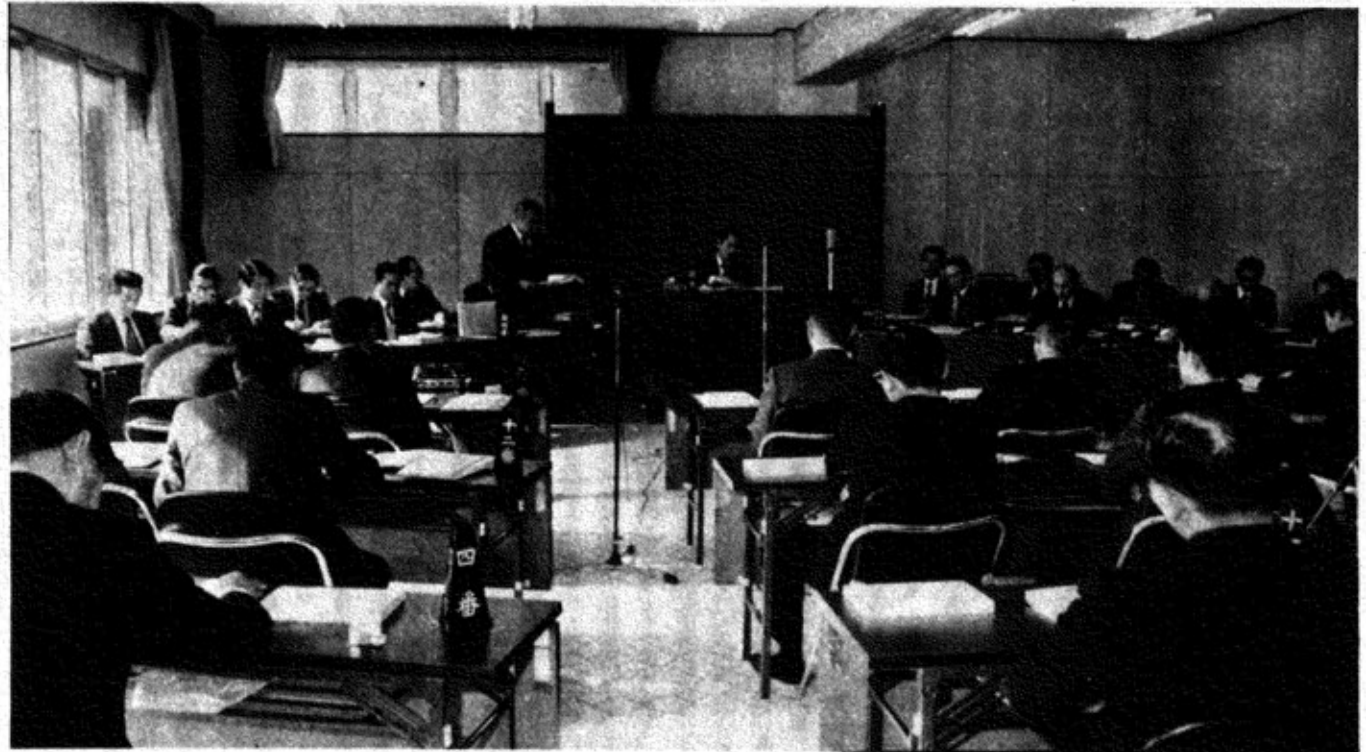
昭和五十三年は、戦後最大の経済危機のなかで明けました。政府は昭和五十二年度において、実質六・七パーセントの経済成長を実現して不況を克服し、国際収支も七億ドルの赤字にして、国際間における日本の責任を分担すると公約いたしました。

しかるに、景気は停滞の一途をたどる一方、輸出に頼りすぎた経

濟運営は、極端な対外不均衡を生み出し、七億ドルの赤字予想が百億ドルの赤字を累積する見通しとなつて、国際的不信行為と非難され、ついに通貨通商の両面から対日攻勢をうけ、昨年十月以降の円高相場は、こうした経済政策の失敗によるものと受け止めなければなりません。

政府はこうした経済政策のおくれを取り戻すべく、十五カ月予算を編成して内需喚起をはかるとともに、黒字減らし対策も決定いたしました。が、政策転換のタイムミスを考えますとき本年の経済成長率及び国際収支比率は容易ならざることがうかがわれるものであり

- ### 五大政策
- 一、町民参加とサービスの向上
 - 二、社会福祉の向上と充実
 - 三、生活環境の整備促進
 - 四、教育の振興とスポーツの高揚
 - 五、農業及び商工業の発展



若返り学級より

昨年の四月から行なわれている若返り学級は、三月八日最終回を福祉センターで行ないました。当日は「俳句と短歌」の勉強で小千谷の依山喜秋先生を講師に楽しく過ごしました。

以下、出席の作品をご紹介します。

○俳句の部

古城子選
ごみ塚の雪の上より翔ぶ雀 尚玉
竹やぶにみぞれの音や干菜風呂 汀風
山菜の袋もつきて春遠し 夏代
金婚の夫婦や寒の長湯治 トク
うぐいすや 初音の声の落ちつかず 佐次
待ち居りし孫片言の雪見舞 山紫
大小の漬物桶を干し並べ みゆき
鎌の柄にした、る汗や杉間刈 幸吉
だん水に菜洗ふ手先早くなり トキ

○短歌の部

喜秋選
お嬢様一年ぶりに箱より出し 位の順に壇に飾り 関 ヒデ
朝なさな囀る小鳥春雨に 花芽、ふくらむ梅の小枝に 星野熊太郎
税金の申告に来る人々の 雪焼けたるくろき顔かな 小見 好一
寒風に頬赤くして 黙々と通学の児ら橋渡りゆく 佐次
ふぶかれてまばらに見ゆる 街の灯は遠くかすかに 星光ること 山田 マス
ほろ苦きふきのとうの 味なつかしく雪消えて 土手探し歩けり 千代野
お祭りの小づかひはしと 云ふ孫の厚き手のひらに 銭三つにぎらす 夏代
転作を息子の語る夕我は 熱しつ茶をいれて居り 小宮山みち

老人居室整備資金の貸付について

町では、老人福祉を増進するための対策の一つとして、「国民年金積立金環元融資」をうけて、老人居室整備資金の貸付を行う予定でありますから、資金の貸付を希望する人は、申請手続をしてください。

貸付のおもな内容は次のとおりです。

- 一、貸付の目的
 - 六十才以上の親族である高齢者
 - と同居する世帯で、高齢者の専用居室の整備を希望する者のうちで、資金困難な者に貸付をして、高齢者と家族との間の好ましい家族関係の維持をはかる。
- 二、貸付の対象
 - 専用居室の増築又は改装
- 三、貸付の限度額
 - 一戸当り八十万円
- 四、貸付の条件
 - (1) 利率 年三、二%
 - (2) 償還期限 十年以内
 - (3) 償還方法 元利均等半年賦償
 - (4) 延滞金 延滞金額につき年十%
 - (5) 保証人 川口町に住所を有する者二人
 - (6) 申し込み期間 四月二十八日まで
 - (7) 申し込み先 町役場 福祉課

貸付の概要は以上のとおりですが、申請手続き等くわしいことをお知りになりたいときは、福祉課におたずねください。

春の全国交通安全運動

あぶないよ わき見、無灯火、二人乗り

4月6日から
4月15日まで(10日間)

事故をよぶ 酒が 疲労が スピードが

横断は 見るくせ 待つくせ 止まるくせ

＜運動の重点＞

- 歩行者、自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止
- 夜間における交通事故の防止
- シートベルト着用の推進

＜運動のスローガン＞

～通学路 黄色い帽子に 注意と徐行～

ます。したがって、円高は長期化し、都市も農村も日本経済すべてにかつてない不況風を送り込み企業倒産の激増、失業者の続出といった社会的な摩擦がさらに増大するものとみなければなりません。このような国の経済環境のもとに、地方財政の危機が叫ばれてから五年、ついに最悪の時期に直面したのが昭和五十三年度であると考えるわけでありませう。しかしながら、いかに最悪の事態とは申せ責任を他に転嫁したずらに傍観していることは、町政執行の責任者として許されないことであると申します。

川口町の財政実情

私は本日昭和五十三年度予算案を提出いたしました。この予算の編成作業を通じて地方自治を確立するためには、自らの体質を改善して行政効率を高めるとともに財政の効果を高めることと生み出すかの努力がいかに大切であるかを痛感いたしました。また、財政の実態についてはあらゆる機会を通して町民各位に申し上げて認識を得たいと存じます。

さて、川口町の財政実情を申し上げますと、政府の地方財政計画がそのまま反映し、財政需要の増大と財源不足のアンバランスを地方債に依存するパターンが繰り返された結果、昭和五十二年度末における町債の現在高は十四億三千七百万円に達し、これに対応する償還金は新年度において一億七千万円を必要とし、今後さらに統合中学校建設事業にかかる町債の償還がはじまるなど、急激な増減が予想されることから、後年度の財政負担に大きな問題点を投げかけているところでありませう。

歳入においては、地方交付税を本年度実績対比八・一パーセント増で見込み、町税については法人町民税の落ち込みが大きく、ほとんど伸長をみる事ができない現状であります。このような財政実情にあるため、私は交際費を大

中に削減したことをはじめ、一般行政経費を厳しく抑え自らその体質を改善すべく努力をすることにも町民各位のご理解をいただき、ご協力を求めるべきところは求めるといふ考えであります。

町政の方針

以上のように、昭和五十三年度にかつてない程の悪条件のなかではあります。住民の要請にこたえべく財政収支の均衡を展望しながら次の五つの方針を設定し、町政を遂行していく考えであります。

- 第一は、町民参加とサービスの向上
- 第二は、社会福祉の向上と充実
- 第三は、生活環境の整備促進
- 第四は、教育の振興とスポーツの高揚
- 第五は、農業及び商工業の発展であります。

特に、新年度は大規模事業を取りやめ、きめこまかに日常生活関連事業を重点として、整備促進をはかる考えであります。次に、五つの方針にそって、具体的な施策について申し上げます。

町民参加と連帯で町づくりを

私は地方自治体の中で、その末端を占める市町村の任務とは住民に密着したサービス本位の行政機関であると考えております。町民へのサービスを一層向上させる

暖かい福祉で町民のやすらぎを

経済不況が長期化する中で生活不安が高まっておりますが、このような時期にこそ福祉の総合的な充実が必要であり、それはまた、町政の重要課題でもあります。

まず、総合福祉センターでの老人憩いの間が手狭である上、多目的利用の不便さを解消するため、「老人憩いの家」を建設することとし、積極的なクラブ活動、生きがい対策の向上にご利用いただく考えであります。また、老人家庭奉仕員の派遣、老人健康診査、敬老

会及び長寿祝行事については、さらに充実して今後の不安解消に努めたいと存じます。

次に年々上昇する医療費の対策として、新たに「高額療養費資金貸付制度」と「精神及び腎臓機能障害者の医療費助成制度」を設け経済的負担を町単独で援助することといたしました。

貸付制度は医療費の支払いが困難な方に、その資金を無利子で貸付けするものであり、精神機能に疾患を持つ方と腎臓機能障害者は長期の入院を必要とし、家族の経済的、精神的負担は大きく、家庭崩壊までみられる現状に思いをよせ治療費の一部助成によってこれを救済する考えであります。

また福祉は町民全体の連帯によって支えられるものでなければなりません。社会的に弱い立場にある人達のために「社会奉仕活動」の推進をめざすとともに、町民各位の善意を結集し各層に相互福祉の活動を定着させ、社会に心のふれ合いを広げていきたいと考えているのであります。

軽減する考えであります。

また、この外「一歳六カ月児検診」の創設や、父子家庭並びに母子家庭対策、乳児及び妊産婦をはじめ一般成人の健康管理等についても従来にもまして措置をしたものであります。

このように今後の福祉行政は従来のような低所得者のみを対象とするのではなく児童から老人まで全町民を対象とし、かつ、その内容も複雑多岐にわたるものと考えられますので、社会福祉協議会の充実によって住民の信頼をとりつけるべく努力を重ねる所存であります。さらに、法外福祉についても推進強化の配慮をいたしました次第であります。

住みよい環境で町民の幸せを

道路整備は後進性脱却のためにも最重要項目に掲げていかなければならない重要な課題であります。当町にはなお改良整備を要する路線が多い現状から、生活関連道路を主体に整備を進めるとして「改良十四路線、舗装十一路線」の予算計上をいたしました。なお消雪後には道路の実態をくまなく調査し財政の許す範囲でさらに促進をはかる考えであります。

冬期における道路確保は生活安定上から大きな問題であり、舗装道路も年々延長されているところから「大型除雪車両」を購入する

ほか「消雪用の水源対策」についても配慮をいたしました。

交通安全対策においては交通環境の整備促進を中心に安全施設の設置、交通指導及び啓発についても実効あるものにしたと存じます。

また、地域における住民同志の対話の場として、あるいは生活に直結した研修の場として利用の大きい「集落開発センター」の建設を新年度は小高地区に計画し、予算に組み入れたのであります。

次に日常の家庭生活に深い関わりをもつごみ収集事業は一部の地域のみを対象としておりましたが新年度は収集区域を「町内全域に拡大」することとし、老朽による更新を含めて二台の「収集車購入」を予算計上いたしました。また、防災上の見地から「消防ポンプ付積載車」の購入をはじめ、「非常用サイレン」の設置、その他消防施設の建設等にも配慮をし災害から町民を守る考えであります。

次に県道及び河川等に関する公共事業について言及したいと存じます。公共事業については毎年度各機関を通じて促進を要望しているところでありませうが、国の予算獲得が困難をきわめその効果のあがらないのがこれまでの実情でありました。しかしながら、当町の現状を訴え強力に運動を進めたところ昭和五十三年度は本年度の倍額にあたる予算を獲得することが

できたのであります。

今後も公共事業の促進と予算獲得には積極的に対処し、地域の発展と景気浮揚のために努力を惜しまない覚悟であります。

教育とスポーツで若者に希望を

未来の日本、あすの川口町を担う青少年が健康で創造性豊かな人間に成長するよう、教育環境の整備、社会教育の充実、スポーツの振興に力を注ぎ健全育成を推進いたします。

本年度の計画にありながら実行できなかった「学校プール」は新年度事業としてこれを実現するとともに「大型通学バス」の新規購入、各校の教育機材など環境の整備にできる限りの措置を講じたのであります。

また、青少年の非行は年々増加の一途をたどり、しかも若年化する現状を重視し、社会教育とスポーツによってこの問題に対処したいと存じます。

私は若者のエネルギーを正しい方向にむけるために、全額県費負担となる「スポーツ指導員」の配当をいただき、スポーツを全町域に広げて若者に夢と希望を持たせるとともに、社会教育の面で町内各界、各層から優秀な人材を選び「リーダーバンク」を設置、指導者の知識、技能、心の活用により社会教育を通じて社会的連帯感を

持ち人間性が豊かで、心身ともに健康な町民の育成に努める所存であります。

産業振興で経済の安定を

本町の基幹産業であります農業については政府が振興策を掲げながらも水田利用の再編対策を打ち出すなど、変則的な指導で農家は戸惑いをみせているのが実態であります。

農業は他産業と異なり自然環境と直接かかわり合いをもち、かつ左右される産業であるだけに設備投資が即生産という形で現れないため、経営面で不利な条件となつていますが山間豪雪地で恵まれな環境にある当町にとってはやはり、基盤の整備が大切であると考えます。

したがって政府の農業対策に対応して西倉地区を中心に「ミニ総合パイロット事業」を導入し生産環境と生活環境を一体的に整備する「農村基盤整備事業」に着手すべく本年度に続き予算計上をいたしました。

また、将来において地域に適した農業のあり方を検討する農政カルテ作りともいえるべき「地域農政対策」や、堆肥によって土質改良をする「土づくり推進対策」などにも意を用い、さらに、山間地における省力農業を進めるため小高地区に共同育苗施設を建設する、「山間高冷地水稲安定対策事業」

を新しい試みとして実施することといたしました。

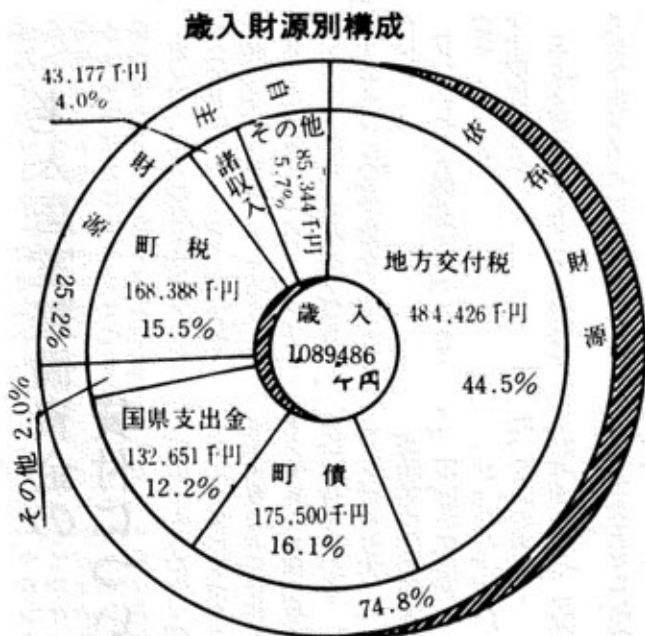
今後における農政の課題は農業の中核的担い手となる農家を育成確保し意欲ある農家、町及び農協が一体となって地域の实情に即した創意工夫をその基礎として農業構造の改善を推進し、農業と農村の再編成が必要であると考えているのであります。立遅れている農村地域の生産基盤と生活環境を整備することに農家をはじめ地域住民の福祉向上はもとより、若い農業者や後継者の確保、優秀農家の定着をはかることができるわけでありませうので、農業環境の総合的整備には積極的に取り組みたいと存じます。

次に、商工業対策について申し上げます。

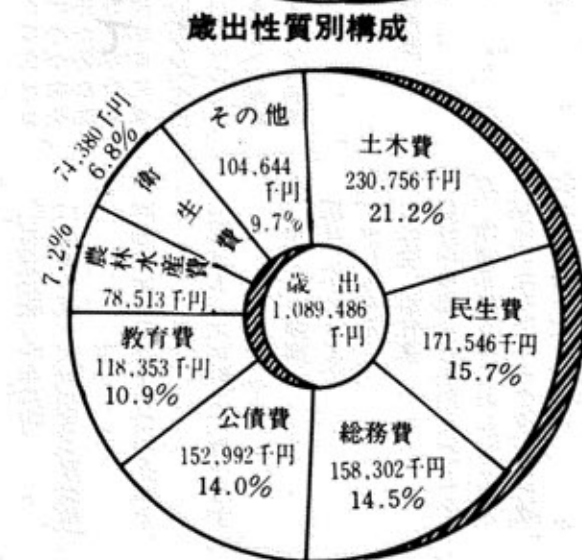
長期化した不況対策はなんといつても国の総合的な政策を待たなければ解決し得ないことは申すまでもなく、政府の景気浮揚策の効果も期待しながら町としましても可能な限りの措置をとる必要があるものと考えます。

したがって、地方産業育成資金をはじめ各関係資金の「貸付限度額の引上げ」や、「資金運用枠の拡大」をはかることも新たに「商工振興資金貸付制度」を設けて資金運用に意を用い、さらに、商工会及び商工協同組合に対する助成金等においても、積極的に協力することといたしました。

昭和五十三年度一般会計予算の構成



会計別	金額 (千円)
一般会計	1,089,486
国民健康保険特別会計	202,719
簡易水道事業特別会計	46,256
ガス事業特別会計	123,075
農業共済事業特別会計	31,116
合計	1,492,652



また、新年度予算に計画された事業及び庁用備品等につきまして可能な限りの「早期発注」と、「町内業者優先」の原則によって町内企業の経営の安定と雇用の増大を促進し社会不安解消の一助とする方針であります。

特別会計事業の内容

国民健康保険事業は本年二月月から医療費が九・六パーセント上昇し、被保険者が年々減少する現況にあります。

元来当町は、受診による一人当たり医療費が県内上位にランクされておりましたが、幸いにして下降が続く良好な状態にあるため新年度の保険料引上率をできる限り抑え、六・七パーセントにとどめることができましたのであります。これは都内において、入広瀬村について低い引上率であり保険料負担額においては本年度都内最高額であったものが、新年度は第四位となり今後はさらにこれを維持改善すべく努力したいと存じます。

また、本年が国民健康保険制度四十周年にあたり、被保険者世帯にささやかな記念品を贈る計画であります。

簡易水道事業及びガス事業では資源の枯渇が大きな問題となっているところであり、ガス供給区域の拡張は当分の間見送りを余儀なくされ両事業とも安定供給の確保に万全を期したいと存じます。

農業共済事業は本年度に引き続き共済の充実、病害虫防除に重点を置き作柄安定をめざす考えであります。

予算の規模

この方針のもとに編成いたしました昭和五十三年度予算は、

一般会計 十億八千九百四十八万六千円

特別会計四件 四億三千六百六十六千円

全会計総額 十四億九千二百六十五万二千円

と、なったのであります。

なお、本年度当初予算に比較いたしますと、これは東部保育所、町民文化会館及びガスホルダー建設費等の減少によるものであり、これら建設関連費用を差し引きますと、実質的伸長率は、

一般会計 十四・四パーセント

特別会計四件 十二・二パーセント

全会計総額 十三・八パーセント

と、なるわけであり、現時点で見積りについては、現時点で可能な限りの検討を加えて計上いたしました。なお、十分に流動的な要素もあり、その確保に最善の努力を払うはもちろんのこと今後諸情勢の推移を見守りつつ弾力的な



運営が必要なものと考えますのでご理解をお願いいたします。

また、著しい社会的、経済的変貌に対処するためには行財政の運用が従来以上に長期展望による計画的なものでなければなりません。したがって、現行の川口町総合計画の見直しをすることとし時代の流れに対応する長期計画を策定する考えであります。

むすび

以上で昭和五十三年度の、町政の方向と予算のあらましについて申し述べましたが、私は、「真の政治とは、町民の期待と信頼にこたえること」にあると信じ、七千町民とともに町政をたくましく、活発に推進してまいりたいと存じます。

各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

借入金及び償還金の明細

(単位 千円)

区分	昭和52年度末の借入高	昭和53年度中の償還金			備考
		元金	利子	計	
一般会計	561,479	32,364	41,930	74,294	
一 般					
辺地対策	50,708	5,405	4,074	9,479	
過疎対策	499,266	19,839	37,970	57,809	
災害復旧	9,419	807	658	1,465	
その他	60,815	2,066	4,877	6,943	
計	1,181,687	60,481	89,509	149,990	
水道会計	72,625	1,395	5,104	6,499	
ガス会計	183,147	2,363	12,442	14,805	
合計	1,437,459	64,239	107,055	171,294	

昭和53年度のおもな事業

事業名	金額 (千円)
重度心身障害者医療費扶助	一七四
高額療養費貸付金	二〇〇
ボランティア活動対策	一七
町老人クラブ補助金	一三八
老人医療費扶助	三〇〇
老人居室整備貸付金	八〇〇
老人憩の家改造	三〇〇
児童手当	二九〇
精神腎臓機能障害医療費扶助	六〇
成人病検診	一七
こみ、し尿処理負担金	三三二
妊産婦、乳児医療扶助	二四〇
こみ収集業務委託	七四二
こみ収集車購入 二台	六九八
山間高冷地水稲安定対策事業	一〇〇
農村基盤整備事業	六〇〇
土づくり推進対策	三〇
地域農政特別対策	八〇
集落開発センター建設	一、五〇〇
地方産業育成貸付金	一、二〇〇
道路維持修繕	四五三
道路新設改良	九一一
消雪用取水工事	五二〇
除雪機械庫建設	五〇〇
ロータリー除雪車購入	七二二
防火水槽建設	六二〇
消防器具置場建設	二〇〇
消防ポンプ付積載車購入	二四〇
スクールバス購入	四五〇
生徒輸送委託料	三六五
学校プール建設	三六五
災害復旧事業	八三四